

シンプルなフレームと厚物合板による 大きな吹抜のある自由な平面

所在地：山梨県北杜市
 設計・総合：アマテラス都市建築設計
 構造：吉田一成構造設計室
 施工：前島工務店
 構造/規模：集成材壁柱不連続ラーメン構造/2階建
 面積：(敷地) 998.00㎡
 (1階) 133.13㎡
 (2階) 51.43㎡
 (延床) 184.59㎡
 竣工：2007年9月

屋根の構成：ガルバリウム鋼板
 t0.4瓦葺き
 アスファルトルーフィング22kg
 構造用合板t12
 垂木105×105/2@455
 構造用合板t24
 高性能グラスウール断熱材16kg/t200
 防湿気密シート(ポリエチレンシートt0.2)
 天井の構成：PBt9.5の上AEP塗装



食堂から居間を見る 内部はほぼワンルームで四周に開ける

居間から食堂 和室 2階寝室を見通す

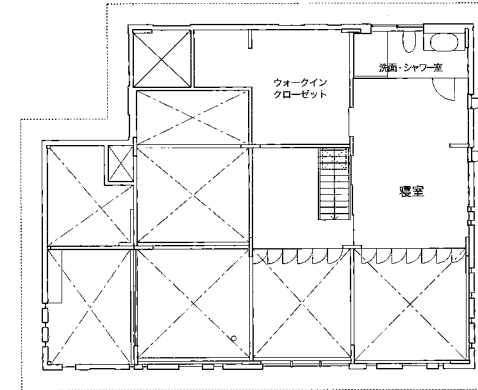


玄関から居間の吹抜を見通す

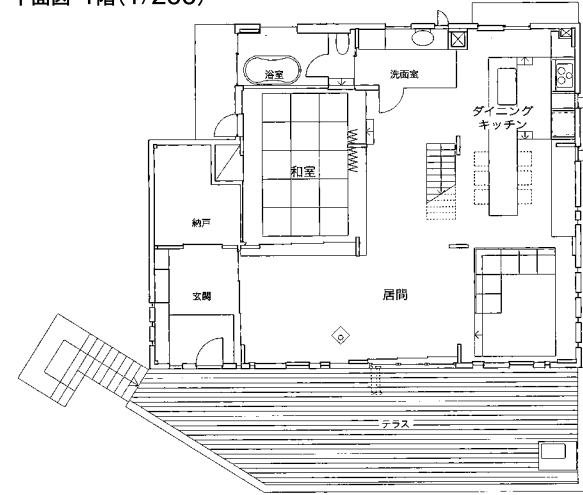


建物外観

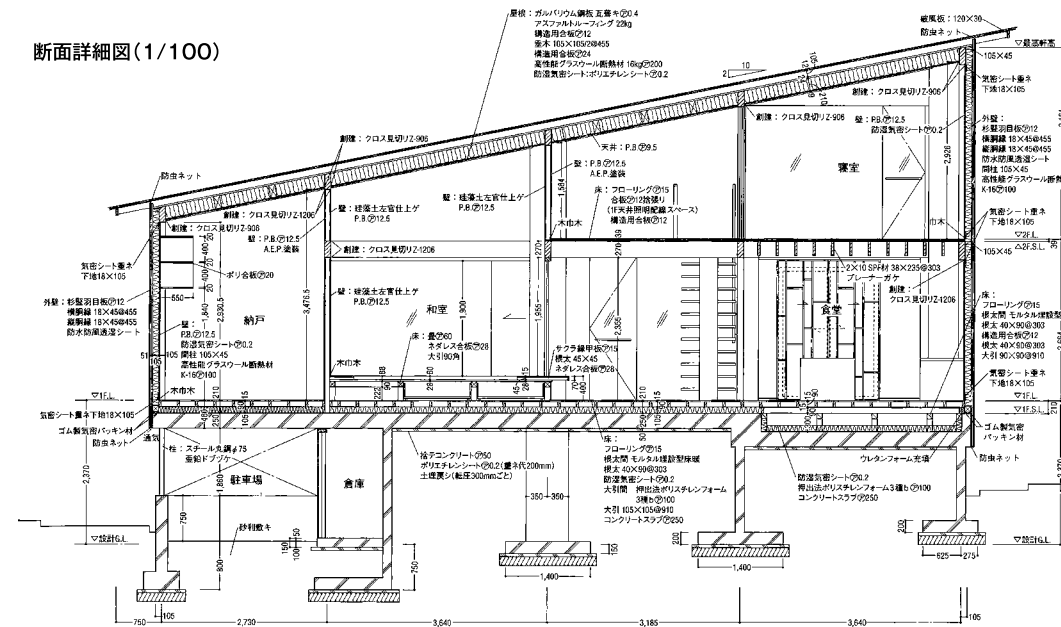
平面図・2階(1/200)



平面図・1階(1/200)



断面詳細図(1/100)



住宅について

八ヶ岳南麓に建つ、夫婦のための住宅である。私たちはこの住宅を構想するにあたって、コナラやカラマツが茂る豊かな森の環境をそのまま建築化することを考え、また室内環境を守る建築的な環境装置として森を利用する建物を計画した。建物を建設するために伐採した樹木と置き換えるように集成材の壁柱を配置し、この縦横交互に格子状に配置した壁柱を構造体として採用することで、木立の間に展開する風景に呼応するランダムなスリット状の開口部、冬の葉を落とした木々の間から降り注ぐ日差しを取り込む南側の大開口など、視覚的にも環境的にもまわりの森と同化する開放的な建物を実現した。

屋根と合板について

屋根の形状は、建物が和風にもモダンにもならず、敷地の環境にフィットする外観という観点と、内部空間の要求から、片流れの屋根を採用している。施主が所有している数多くの古民具が、空間のなかで映えるように、構造体は、おおらかに空間を規定する、シンプルで力強いものにした。屋根架構も極力抽象的なかたちになるように、数少ない構成部材で単純に構成した。厚さ24mmの構造用合板を利用することで、屋根面の十分な水平剛性を確保しつつ、この建築を特徴づける単純な片流れ屋根と大きな吹抜空間を実現している。またそのシンプルな架構が施工手間を軽減した。